

増センブリハ本條ノ一種ナリ、獐牙菜ノ種類トスル説ハ穩ナラズ、又古ヨリ和ノ胡黃連トスル

モ誤ナリ、此集解ノ山龍膽、本草彙言ノ石龍膽ニシテ、ハルリンダウハ石龍膽ノ一種ナリ、センブ

リハ龍膽ニ代用スルニ佳ナリ、

〔本草和名草〕鳧葵、一名苳菜、同、苳一名接輿、一名猪蕒、出蘇敬注一名茆、已上出和名阿佐々、

〔倭名類聚抄水菜十七〕苳、爾雅注云、苳菜、上音杏、字亦作苳叢生水、中葉圓在端、長短隨水深淺者也、

〔箋注倭名類聚抄藻九〕説文、苳菜餘、本草圖經引陸機云、白莖、葉紫赤色、正圓徑寸餘、浮在水上、根在水

底、大如釵股、上青下白、後漢書馬融傳注、鳧葵、葉團似蕒、生水中、今俗名水葵、唐本草云、鳧葵生水中、

即苳菜也、別本注云、葉似蕒、莖澀、根極長、江南人多食、圖經云、花黃色、水中極繁盛、李時珍曰、苳與蕒

一類二種也、並根連水底、葉浮水上、其葉似馬蹄而圓者蕒也、葉似蕒而微尖長者苳也、夏月俱開、黃

花、亦有白花者、結實大如棠梨、中有細子、

〔醫心方〕鳧葵、和名阿佐々、

〔伊呂波字類抄植物附植物具〕苳亦作苳、亂同

〔日本釋名草下〕苳、水のあさき所に生じて、黃花さく草也、あさぎ也、或云、あさぎはかうほね也、苳

にあらず、苳は小草也、蕒に似たり、

〔東雅穀蔬〕苳アサ、略中 アサ、の義不詳、或人の説に、アサ、とはアサ、如何があるべき、萬葉集抄に、重就といふもの、如し、アサアサといふに似たり、水淺き所にあるの義なり、けむも知るべ

からず、又此菜に鳧葵の名あるによりて、俗にカモアプロヒといふ物をもて疑ふ事あり、また是た

またカモアプロヒといふものは、別にこれ一物なり、

〔倭訓栞阿後編二〕あさぎ、苳菜をいふ、倭名抄に見ゆ、池などの淺き所に生草のうるはしき花の咲

ものなり、よて俗に小蓮花といふ、篤信云、あさぎは葉も花も萍蓬草に似たり、近江にちやんきん

甲斐にくりじやび、加賀にいもなき、肥後にはかはいも、備前にすづほんも、く、江戸近邊にかて圓